

原子力安全部会 企画セッション

実効的なオブソレッセンスマネジメントに向けた論点の抽出

- 日時：3月27日（水） 13時～14時30分 @近大
- 司会：名大・山本章夫
- 話題提供：
 - 国際的な事例分析：東大・村上健太
 - 安全性向上評価を通じた取り組み：ATENA安全性向上評価WG（関電）・長嶋一史
 - 規制の視点から見たオブソレッセンス：規制庁・黒川陽一郎
- 総合討論

企画セッションの目的

- 原子力プラントのライフサイクルを通じて安全性を向上させるには、**オブソレッセンスマネジメント**が不可欠である。
- オブソレッセンスは、経年劣化管理、長期運転、品質マネジメントシステム等の文脈のなかで使われる専門用語であり、その意味する所に関する**共通の理解**を構築することは重要である。原子力安全部会は2023年の原子力安全セミナーでこのテーマを取り上げ、「オブソレッセンスとは何か」に関する基礎的な内容を解説し、幾つかの取り組みを例示した。
- 企画セッションでは**学術及び実務の両面から**議論を深め、実効的なオブソレッセンスマネジメントに向けた論点を抽出することを目的とする。特に具体的な取り組みが難しい**知識のオブソレッセンス**に着目する。

講演の概要

1. 国際的な事例分析：東大・村上健太
 - 一般的な（原子力だけでない）オブソレッセンスマネジメントの事例を紹介し、その分類と文脈を示す。
 - それを踏まえて、原子力のオブソレッセンスの分類の意味を説明する。
 - 国際的な良好事例&懸念となる事例を紹介する
2. 安全性向上評価を通じた取り組み：ATENA安全性向上評価WG（関電）・長嶋一史
 - 関西電力の安全性向上評価で抽出された自主的な安全対策を分析する
 - ハードウェア対策、ソフト対策について、オブソレッセンスの分類との関係を検討する
 - 知識の旧式化への対応には、どのようなパターンがあるかを議論する
3. 規制の視点から見たオブソレッセンス：規制庁・黒川陽一郎
 - オブソレッセンスに関する規制委での議論の経緯を紹介する
 - 4つの対応（バックフィット、長期施設管理計画、安全性向上評価、欠けへの対応）を紹介する

総合討論の論点：

知識のオブソレッセンスを効果的にマネジメントする方法は？

- そもそも「知識のオブソレッセンス」には、何が含まれるか？
 - ✓ハードウェアの設計思想や、協力企業のノウハウなど、必ずしも形式知化できない知識の集合体の喪失を含む？
 - ✓未知の自然ハザード等の「既に存在しているが気付いていないもの」は「知識のオブソレッセンス」とは呼ばないのでは？
- 「オブソレッセンス」は、常に是正しなければいけない、悪いことなのか？
 - ✓より設計の古いプラント ≠ より安全性の低いプラント ではないか？
 - ✓オブソレッセンスを創ることの方が、重要ではないか？
- 今のオブソレッセンス・マネジメントの仕組みは有効に機能しているか？
 - ✓見落としている領域があるのでは？ 気づくことはできるか？
 - ✓様々な制度を通じてまとめた情報を、上手く組み合わせ使えているか？
 - ✓新たな知識を生み出す能力（研究開発を含む）が、低下しているのでは？